



リラックスできるカフェ

文責・大森 梓

みなさんは喫茶店とカフェの違いがわかりますか。両方ともコーヒーを飲んだり、ケーキなどを食べたりしながらおしゃべりできる店ですが、少し違うところもあります。喫茶店は酒類以外の飲み物、コーヒーやお茶に合うお菓子や軽い食事を提供していて、朝食のモーニングセットや昼のランチセットの定食のサービスもあります。一方、カフェは、店内にソファーや暖色系のインテリアが置いてあって、白熱灯で薄暗い照明にして、内装もおしゃれにして雰囲気を楽しむことを重視しています。毎日仕事や学校の事で忙しかったり、人間関係で悩んで一人になりたいと思ったりしたときは、現実から離れて時間を忘れたいものです。そんな時に、心を癒すためにカフェはどうですか。

【文法解説】

例 動詞たい形+ものです。Aたいものです。*強調希望、期待的心情。

1. 一度フランスへ行ってみたいものです。
2. 一度メジャーリーグの試合をみたいものです。



東橋日語

- 留學先修班 ■基礎班 ■初級班 ■中級班
- 高級班 ■研究班 ■能力測驗衝刺班
- 寒暑假密集班 ■家教班 ■公司外派

班級眾多，歡迎詢問、插班

<http://www.tokyo.com.tw>

東京外語学園日本語学校

- 長期留學：招收1・4・7・10月生
- 短期遊學：出發前1個月報名即可成行
- 日本研究所專攻班：升學成績斐然，歡迎各校大學畢業生攻讀深造

<http://www.tgn.ac.jp>

東京外語學園日本語學校 研究所合格實績

(国) 東京工業大学大学院
(国) 大阪大学大学院
(私) 立教大学大学院
(私) 東京工科大学大学院
(国) お茶の水女子大学大学院
(国) 千葉大学大学院
(私) 日本大学大学院
(私) 大東文化大学大学院
(国) 京都大学大学院
(国) 横浜国立大学大学院
(国) 埼玉大学大学院
(国) 電気通信大学大学院
(国) 東京学芸大学大学院
(私) 法政大学大学院



役に立つ文法

文責・桑原 繁雄

みなさん、こんにちは。

這次介紹的是關於「わけではない」的句型。因為這個句型有許多種使用方法，請務必特別注意。那麼，開始吧。

- 一、
動詞普通形＋わけではない。
い形容詞普通形＋わけではない。
な形容詞＋な＋わけではない。（並不是，並非）
名詞＋な＋わけではない。

* A わけではない→否定對方在推測後所說了的事情內容。

1、A：田中さんがわたしの悪口を言ったんですか。

B：いいえ、田中さんが言ったわけじゃありません。

- 二、
～わけではない。A わけではない。

* 婉轉的否定某事 A。

1、木村さんはそんなお金があるわけではないのに、身につけている物はブランド品ばかりだ。

- 三、
～ない形＋わけではない。（並不是）

* A ないわけではない→雙重否定，表示消極地肯定事情內容。

* 表示在某種程度上是如此。

1、佐藤さんはお金が全然ないわけではない。

2、加藤さんの料理は全然おいしくないわけではない。

- 四、
動詞辞書形＋わけではない。（並不一定）

* A するわけではない→否定應該會發生的結果。

* 並非一定成為 A。

1、一生懸命働いても必ず出世できるわけではない。

2、この世は努力した人が必ず成功するわけではない。



社名の由来

文責・高山 裕

日本の会社といえば、どこをまず思い浮かべるだろう。トヨタ、ソニー、ヤマハなどいろいろあるが、その社名の由来を知るとなかなかおもしろい。

由来として多いのが創業者の名前からとったもの。例えば、「トヨタ」は豊田佐吉氏、タイヤの「ブリヂストン」は石橋正二郎氏（石＝ストーン・橋＝ブリッジの逆読み）など。

他にも牛丼の「吉野家」は創業者の出身地の大阪市福島区吉野町がその由来になっている。

略語も多く、デパートの「三越」は三井越後呉服店から。「日清」は日々清らかに豊かな味をつくるという創業者の思いを込めた名前になっている。

少し変わったものでは、顔を洗える上質なせっけんを作った「花王」など。

こうみると有名な会社でもその由来が知られていないものもかなりある。自分が働いている会社の社名の由来を知っている人はどのくらいいるのだろうか。知らなくても仕事には影響がないと思うが、会社への思いが少し変わるかもしれない。



【文法解説】

例 普通形＋のだろうか→強調「全くわからない」。

1. 景気はいつごろからよくなるのだろうか。
2. 田中さんは連休何をするのだろうか。



【圖片取自於各社網頁】



東橋日語

發行人：佐澤英子
 編輯：鄭玉琪
 發行所：台北市中山北路1段
 152號8樓
 電話：02-2537-4888・2711-3788
 網址：http://www.tokyo.com.tw/

第八十六期

2009年03月出刊

犬っこまつり

文責・渡邊 幸恵

きょうは秋田県湯沢市の伝統あるお祭り、「犬っこまつり」を皆さんに紹介しましょう。

「犬っこまつり」は秋田県内陸南部にある湯沢市で、毎年2月第2土曜日、日曜日に開催されるお祭りです。

今から約390年前、湯沢の町には白昼堂々と人家を襲う大盗賊がいましたが、お殿様がこの盗賊たちを退治しました。そして、再びこのような悪党が現れないようにと、米の粉で小さな「犬っこ」を作らせて、旧小正月の晩に、家の門や窓にお供えして祈念させたのがこの「犬っこまつり」の始まりだそうです。また、夕方になると子供たちが家の前に雪でお堂を作り、その中に犬っこをお餅や甘酒といっしょにお供えして、夜遅くまで遊ぶという風習もあったそうです。

今では、「犬っこまつり」の時期になると、たくさんの人が湯沢市内の広場や公園に作られた雪のお堂や秋田犬の像を見に来ます。また、愛犬祈願祭も行われ、愛犬の健康を願う人々でにぎやかになるそうです。

※秋田の方言では、物の名前に「っこ」をつける言い方があります。（「犬っこ」、「お茶っこ」、「餡っこ」など）

【文法解説】

例 動詞 {

- ない形
- 辞書形

 + ようにと + 行為。



* ように→表示願望、祈願

* と→「と考えて、」「と違って」的省略型。

みんなは田中さんの病気が早くよくなるようにと千羽鶴を折っています。